

令和4年度 県立図書館利用者アンケート結果報告

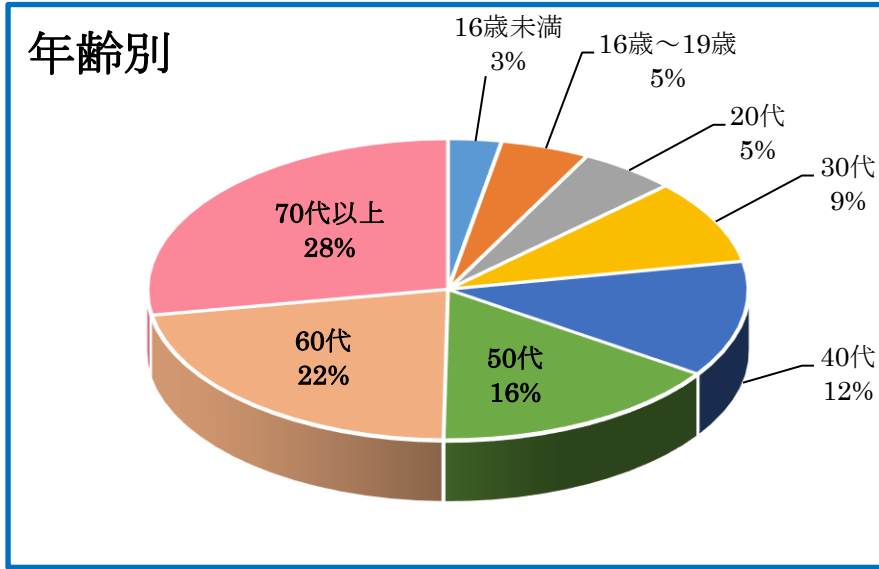
令和4年12月12日

令和4年10月7日（金）から6日間にわたり、図書館サービスの充実を図るため、利用者の皆様にアンケートを実施しましたところ、226名の利用者の方からご回答いただきました。本調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

注:割合値の合計は、四捨五入のため100%にならない場合があります。

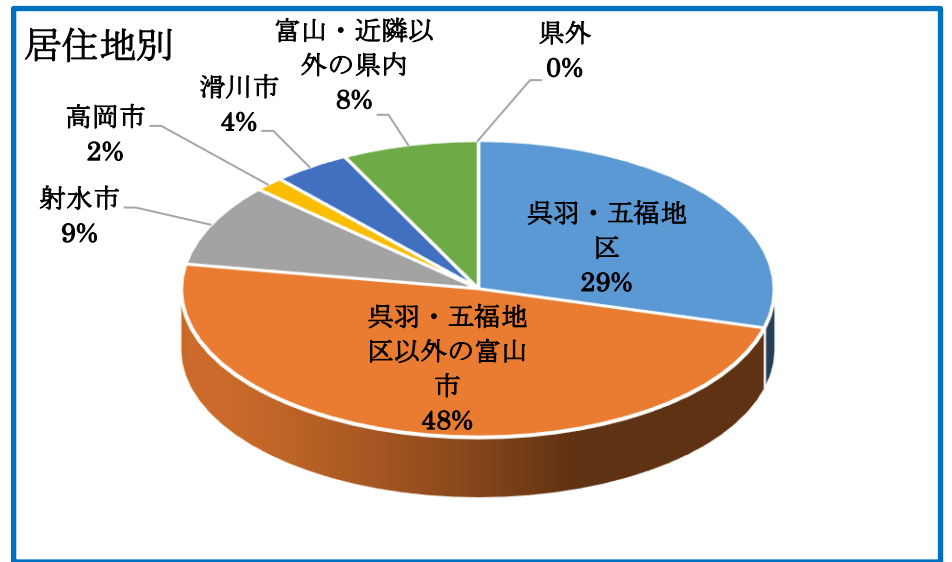
1 アンケート回答者

(1) 年齢別



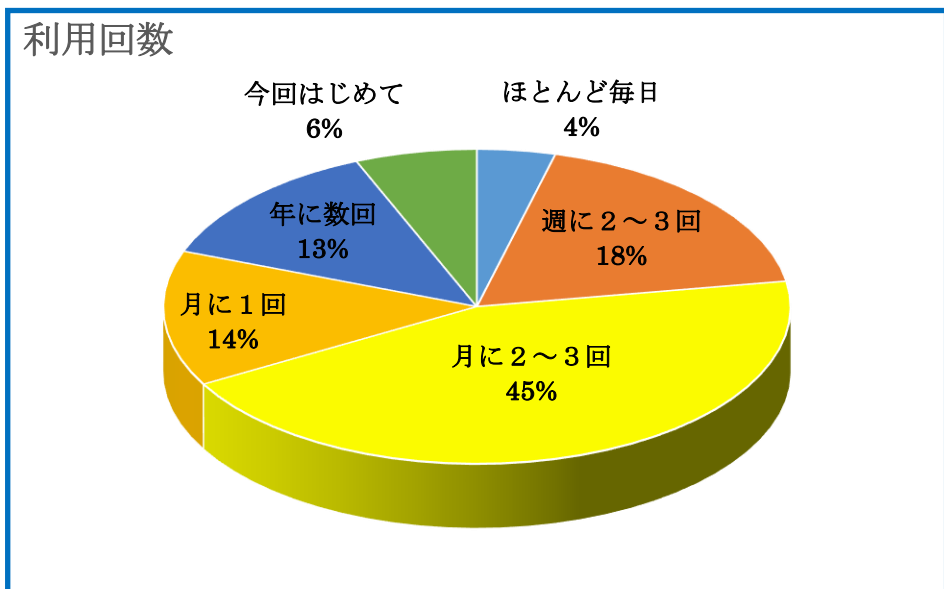
- ・50代以上の割合が全体の2/3程度である。
- ・近年で20歳未満の割合が最も高い。

(2) 居住地別



- ・「呉羽・五福地区以外の富山市」が48%と最も多く、次いで「呉羽・五福地区」の順である。この2地区で全体の77%を占める。H30は87%であった。
- ・若干ではあるが、富山市以外の地域からの利用者が増えている。

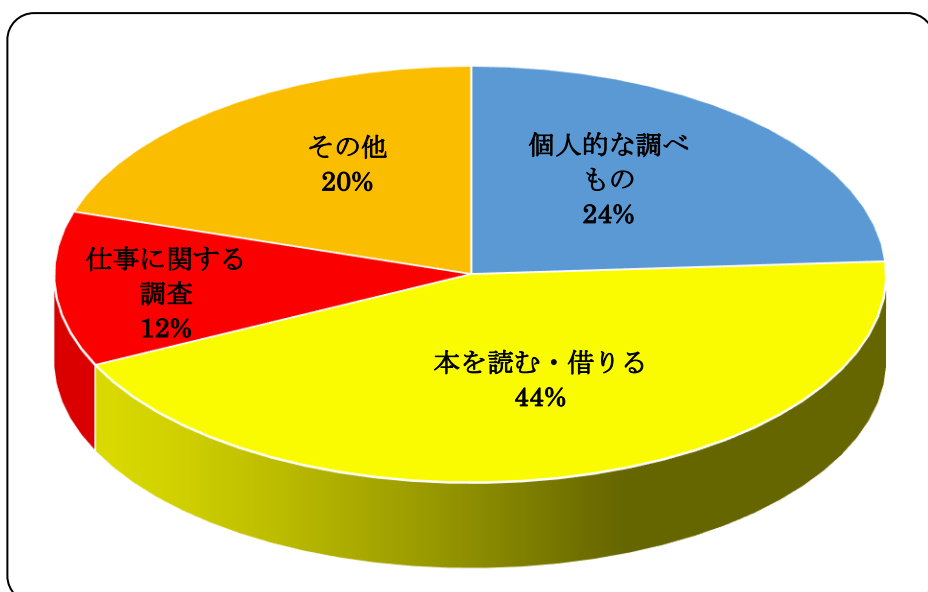
(3) 利用回数



- ・月に2～3回が全体の約半数である。「一人10冊、15日間」借りられるので、ペースとしても合う。
- ・「今回はじめて」の割合が近年では最も高くなった。

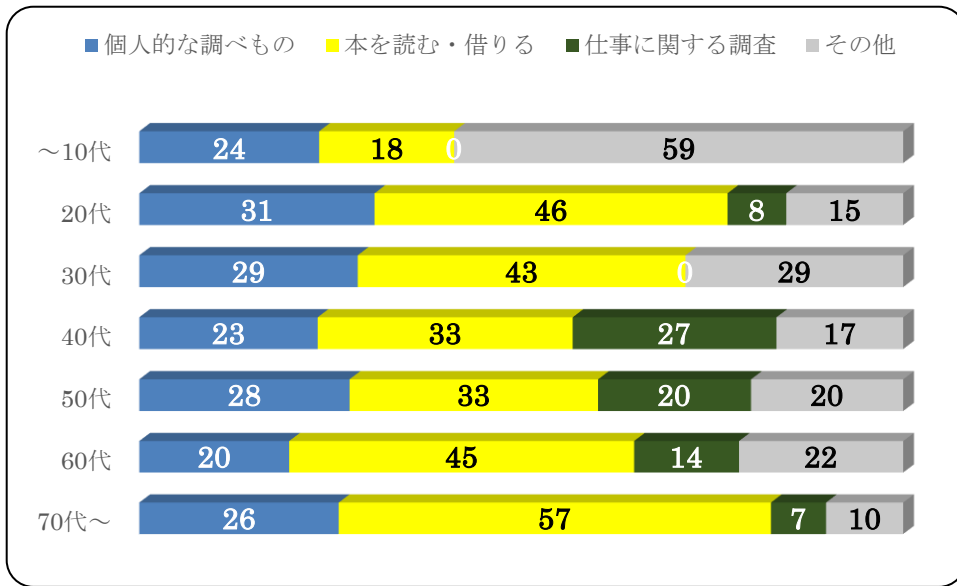
2 利用について

(1) 主な利用目的



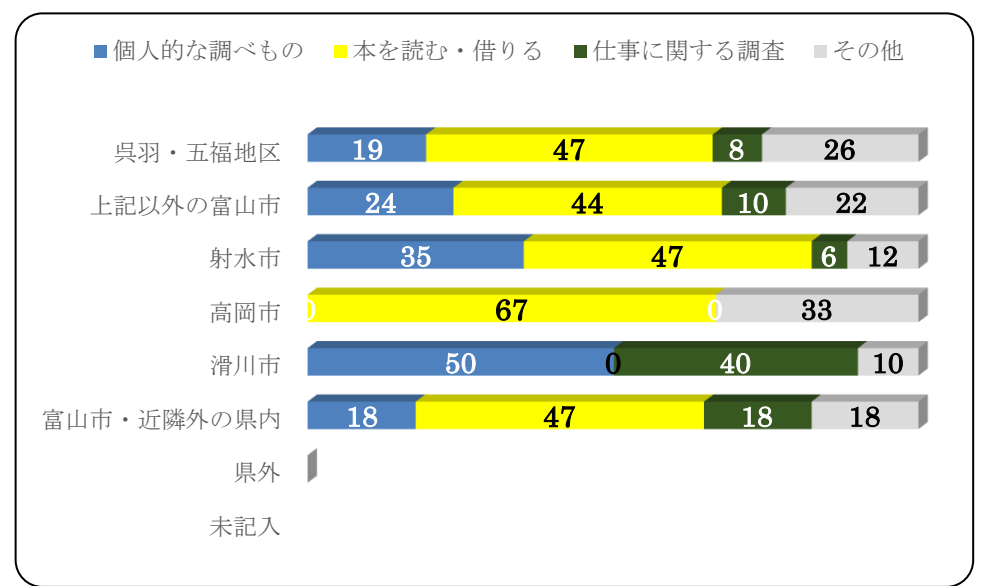
- ・「本を読む・借りる」、「個人的な調べもの」は例年通り多いが、「その他」では学習で図書館を訪れる利用者が多い。
- ・「③仕事に関する調査」の割合も年々増えている。

(2) 年代別利用目的 (%)



- ・70代以上では「本を読む・借りる」が過半数を占めた。
- ・40代、50代は「仕事に関する調査」の割合が他と比べて多い。
- ・20歳未満はその他が最も多く、学習が主である。

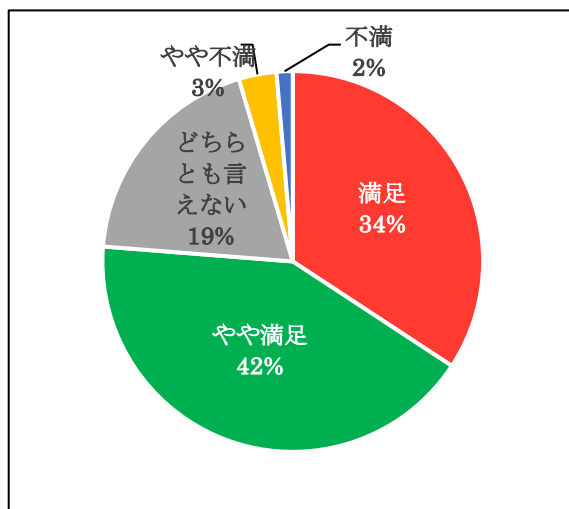
(3) 居住別利用目的 (%)



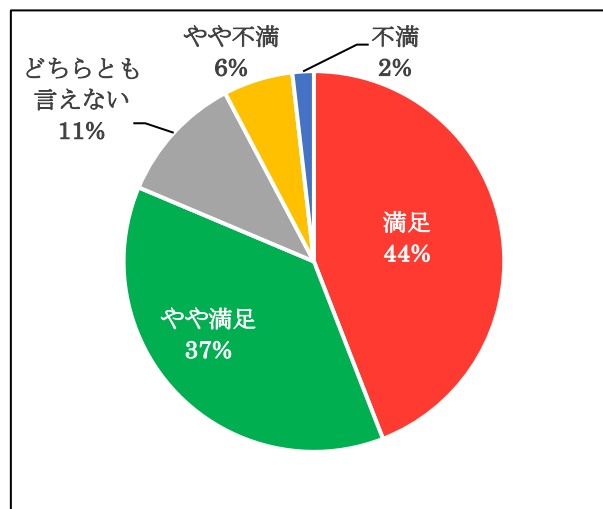
- ・おおむねどの地区も「本を読む・借りる」の割合が高く半数近くを占めているが、高岡市が67%と高い。逆に滑川市は「個人的な調べもの」「仕事に関する調査」で9割を占めた。
- ・射水市は「仕事に関する調査」の割合がやや高かった。
- ・「その他」の中で、割合が高かったのは、富山市、高岡市であり、そのほとんどが学習であった。

3 満足度について

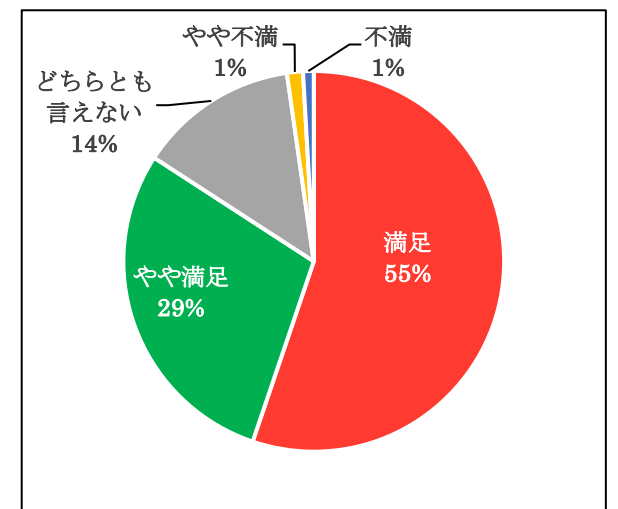
(1) 所蔵資料



(2) 開館時間・日数

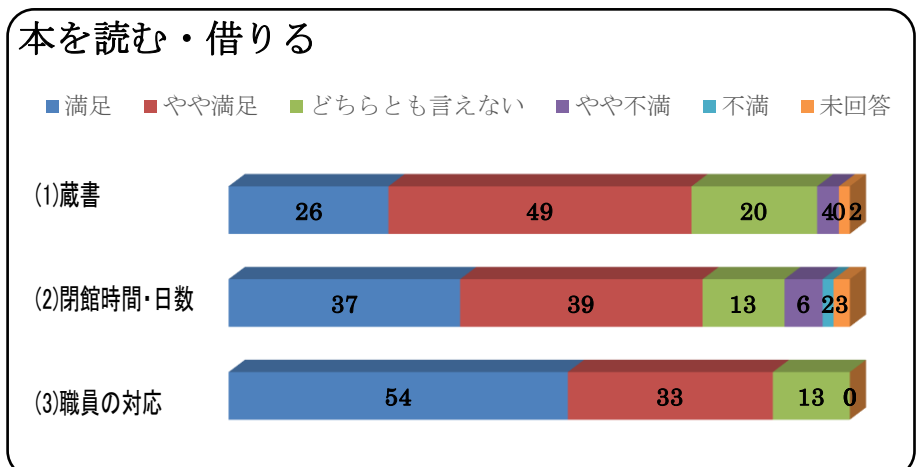
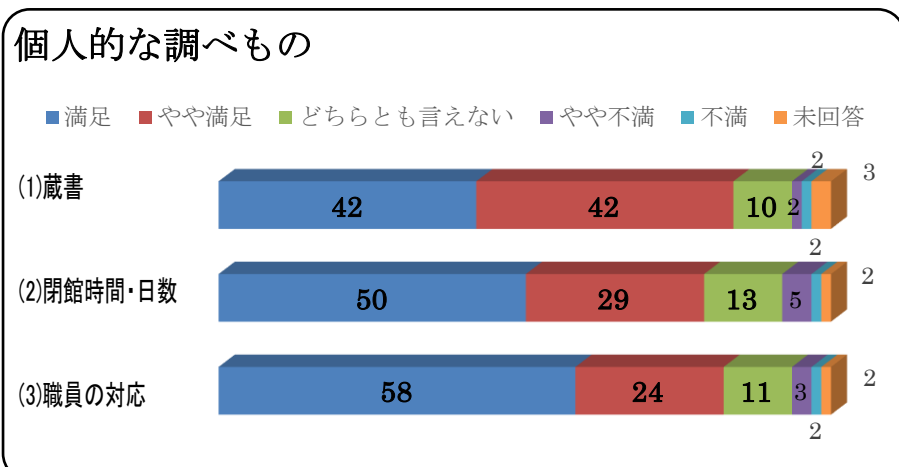


(3) 職員の対応



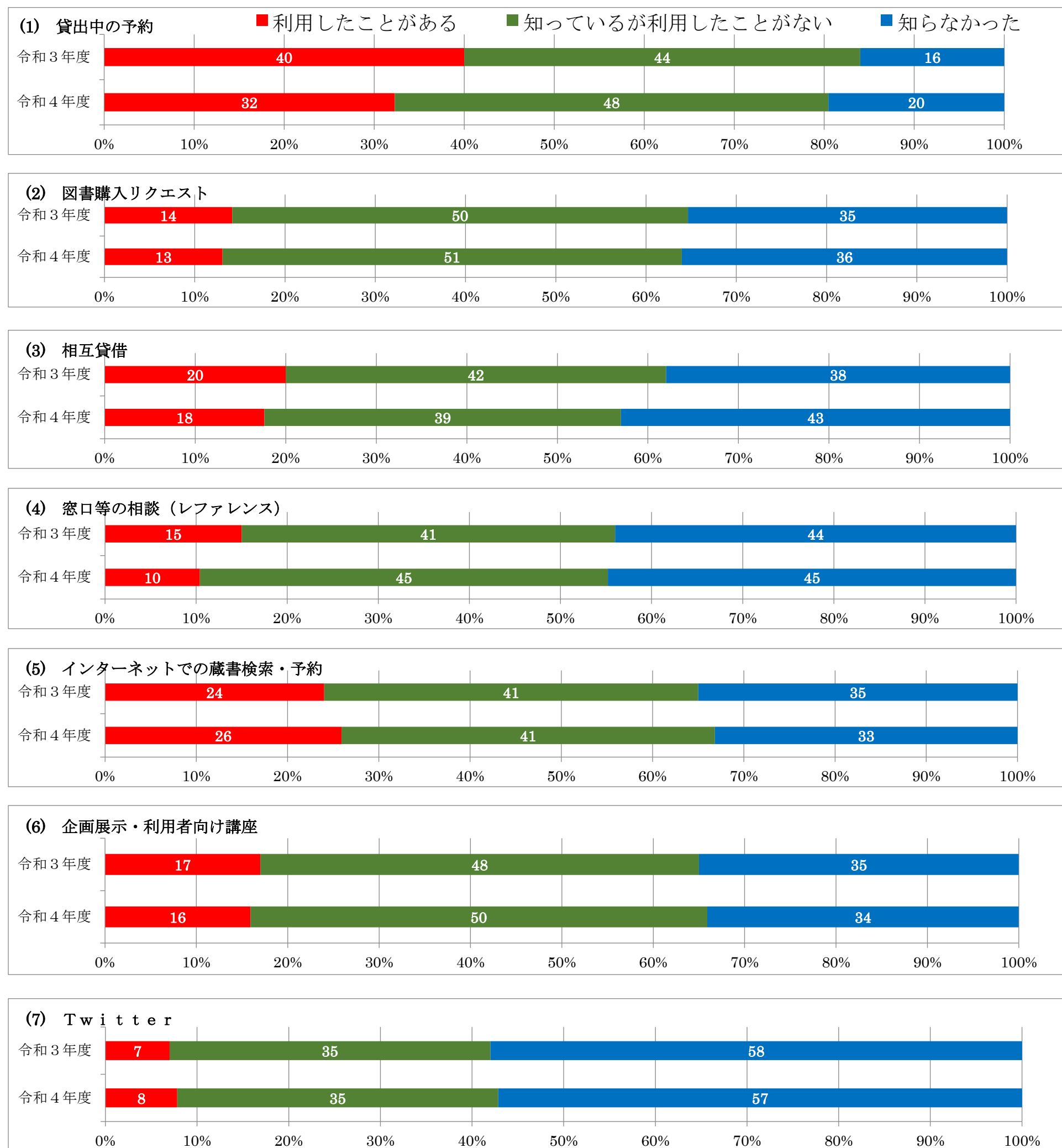
- ・いずれも「満足」、「やや満足」という回答が最も多く、8割前後であった。
- ・しかし、「所蔵資料」「開館時間・日数」についてはそれぞれ1割近くの利用者が何らかの不満を感じており、今後も満足度を高めるサービス提供に努める必要がある。

(4) 利用目的別満足度 (%)



- ・利用目的が「個人的な調べもの」の場合、「開館時間・日数」で「やや不満、不満」が7%となっており、要望としては、開館時間の延長等があげられている。
- ・「本を読む・借りる」では、「蔵書」と「開館時間・日数」で「満足、やや満足」が8割に届かず、自由記述欄には雑誌、専門書から一般図書にいたるまで、多様な要望がある。また、閲覧室の開架冊数の増加を求める声もある。

4 サービスについて



- ・ (1) から (4) の4項目について、「③知らなかった」の割合が近年で最も高くなった。(特に、(3)相互貸借、(4)レファレンス)
- ・ (7)「ツイッターでの情報発信」の認知度は例年10%を超えることはなくかなり低い。この貴重な情報発信源をうまく活用できれば、(1)～(7)の改善にも繋がるものと思われる。
- ・ 「知っているが利用したことがない」人に体験してもらう機会を設けることなどの工夫が必要である。実際にこれらのサービスを利用してもらうために、広報や館内表示等の工夫をもっと進める必要がある。

5 利用者からの主なご意見とその対応について

	意見	対応
資料関係	・書庫を含めるととても多くの蔵書があるが、手に取れる書籍が少ないと感じる。キャパ的に難しいのは分かっているが、もっと大きな書架があったらいいと思う。	県立図書館の蔵書(図書)は、現在100万冊以上ありますが、閲覧室の開架・閲覧スペースが限られているため、最近5年程度の受入図書を配架しています。蔵書の約9割が書庫に所蔵されており、利用者の皆さまにはご不便をおかけしています。各分野のバランスを考慮しながら、書庫内の図書を開架・閲覧スペースに出すように努めています。書庫内にある図書は、利用者検索端末(パソコン)による検索や窓口でのご相談等により、職員が書庫から出して提供しています。必要な資料が見当たらない場合はお気軽にカウンター職員にお尋ねください。 また、当館では、より多様な図書との出会いが可能となるよう、日頃書庫内に配架されている資料を、手に取りやすいよう展示した、各種テーマによる企画展示を行っている。こちらもご利用ください。
	・新刊を増やしてほしい。	新刊図書は、予算の範囲内で、毎週の新刊出版情報をもとに選書・発注をし、当館の資料選択基準に沿って図書現物を確認し購入しています。そのため、書店やインターネット情報に比べ、新刊図書の提供が少し遅くなる場合がありますが、ご理解いただきますよう、お願いいたします。 また、当館HPに、新刊受入日には「週刊新着図書リスト」を、月初めには「新着案内(分野ごとに過去3年分掲載)」を公開しています。こちらもご利用いただき、貸出中の場合は予約することをお勧めします。
	・雑誌、専門書などをもっと入れてほしい。 ・雑誌の付録はどうしてるのか？	現在、限られた予算内で、雑誌については、現在受入中のものは継続するよう努めています。平成25年度から、県内企業のご協力により雑誌スポンサー制度を実施し、ご利用いただける雑誌タイトル数の増加を図っています。令和4年度は26社の企業の皆様から31誌をご提供いただいています。(企業名・雑誌タイトル一覧はホームページを参照) 一般図書については、県内市町村立図書館との収集のバランスを考え、比較的専門的な図書を中心に収集しています。資料収集方針に基づき、県民の生活や仕事に関わる図書のほか、読書意欲をかきたてるような図書を収集するよう心がけています。 なお、当館が所蔵していない資料については、リクエストによる購入の検討や、所蔵している他館から当該資料を取り寄せ、閲覧・貸出をするサービスもありますので、ご希望の資料等がありましたら、お気軽に窓口までお尋ねください。 雑誌の付録については、当館資料として活用できるもの(図書形態のもの。例:「山の便利帳(雑誌「山と溪谷」付録など)は受け入れています。カレンダー等は館内で業務に利用し、小冊子や小物等は保存していますが、その他の付録の有効な活用については、他館の事例も参考に、引き続き検討してまいります。
	・児童図書も充実してください。 ・子どもの絵本が少ない。	当館が所蔵する児童図書は40,320冊(令和3年度末現在)、そのうち1階児童書室には約4,000冊を配架しています。 当館は昭和44年現在地への移転開館以来、立地条件などから、児童が単独で来館することが難しいため、児童図書は市町村立図書館が中心となって収集していただくこととし、当館は基本的なものを中心に収集してきました。 平成13年の「子どもの読書活動の推進に関する法律」成立以降、当館でも児童図書を充実するよう収集してきましたが、近隣の県立図書館に比べ所蔵数は多くありません。今後は、限られた予算の中ではありますが、質量とも充実したコレクションとなるよう、収集に努めてまいります。 なお、児童書室に配架している児童図書以外に、書庫にはロングセラー絵本を中心に1万冊以上の絵本、2万5千冊以上の児童図書があります。必要な資料が見当たらない場合はお気軽にカウンター職員にお尋ねください。
施設・設備・開館時間等	・土・日 19時まで開館してほしい。 ・夜あと1時間程度延びてくれるとありがたいです。 ・休館日を減らしてほしい。	当館では、これまでも祝日の開館や開館時間の延長について、段階的に実施してきましたが、現行の開館時間をさらに延長するためや開館日を増やすためには、これに対応する人件費や施設管理費用の確保が必要となってきます。このため、すぐには対応できない状況であることを、どうぞご理解願います。
	・コレクションルームの座席数を増やしてほしい。 ・もう少しコンソートの使える席があると嬉しいです。 ・学習できる場所を増やしてほしいが、現在のゆとりも快適なので難しい。	県立図書館には、自習や学習専用の部屋はありませんが、閲覧等以外の目的で使用される方には、2階コレクションルームをご利用いただいています(1階閲覧室は、図書館資料の閲覧・貸出や調査相談のためのスペースとなっています)。 コレクションルームは、従来、夏季の利用者が増える期間に机・椅子を増設して、便宜を図ってまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、一定間隔を確保することが求められており、現在は、各机に椅子は一脚ずつとなっております。当面の間、現在の形を継続いたします。土日祝日は特にご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をよろしく願います。 パソコン席については、コレクションルーム内のコンソートの数の問題や、キーボードをたたく音が気になり集中できないといったご意見もいただくことから、これ以上の増設は難しいと考えています。
閲覧・貸出関係	・検索システムが使いづらい。古い。 ・HPの図書予約システムが使いにくい。メニューが分かりづらい。何度もクリックしなければならない。 ・県立図書館も貸出システムを含めて新しくなれば良いなと思っている。	当館では、現在新図書館システムの稼働を令和5年3月に予定しています。 新図書館システムでは、電子書籍サービスやスマートフォン用検索画面の追加など、機能向上と新サービスの提供を予定しています。引き続きご利用いただきますよう、お願いいたします。
	・館外図書の取り寄せも、できればネット上で申請できるようにしてほしいです。	図書館のシステムは、各自治体で別々に運用されています。そのため、当館のホームページから他館資料の予約(取り寄せの申し込み)はできません。他館資料の予約を希望される際は、当館の窓口で(または電話)相談していただきますよう、お願いいたします。 なお、インターネットで相談を希望される場合は、当館のホームページ下部にある「資料に関するご質問、調査依頼など」のお問い合わせフォームをご利用ください。取り寄せの可否について、お調べして返信させていただきます。
	・借りたくなる見出し(ポップ)などがあると良いと思う。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。当館では、より多様な図書との出会いが可能となるよう、閲覧室や書庫内に配架されている資料を、手に取りやすいように配慮した、各種テーマによる企画展示を行っています。また、「今日の1冊」コーナーや児童図書室内「子育てネット!とやま」おすすめ絵本のコーナーで、随時、本の紹介なども行っておりますので、こちらもご利用ください。

今回のアンケート実施にあたり、多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。寄せられたご意見は、親しみやすく、利用しやすい県立図書館にするためのご助言と受けとめております。また、館や職員への温かい言葉もたくさんいただきました。

今回の結果を参考に、今後とも図書館サービスの見直しと充実を図ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。